

世界で最も安全な道路交通社会の実現に向けた取り組み

萩原電気株式会社

本成果は、内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の受託業務である、(自動走行システム)「走行映像データベース」の構築技術の開発及び実証 に向けて提供したものです。萩原電気は、一般財団法人日本自動車研究所の自動走行の研究事業に参画、協力をさせていただいています。今後もさらなる技術課題の解決に挑戦し、自動車安全交通社会の創造に向けて取り組んでいきます。

走行映像データ収集



萩原電気の取り組み

自動走行の実現には走行中の自動車の周辺環境を正確に認識することが重要です。また、自動車周辺にある歩行者や障害物を正確に認識する上で、走行映像データベースに蓄えられた大量のデータを活用した、認識辞書の作成や評価手段の提供が期待されています。

萩原電気は、車載カメラによる認識システムの開発を行う研究者、技術者のために、映像データベースに蓄えられたデータを、性能評価用データとして有効に活用して頂くための開発支援環境やツール、サービスの充実を目指します。

自動車周辺環境認識技術のための開発支援環境

萩原電気は下記のツール開発や環境構築のお手伝いを致します。

1. データ収集および、収集車両製作、貸出
高分解能、高ダイナミックレンジ、高フレームレート、
マルチカメラ360°全方位映像
同時計測情報：レーダ測距情報、CAN、GPS、シーン情報
2. データ収集・加工サービス
走行計画・収集走行・収集データ評価・DB構築蓄積管理
教師データの作成支援
3. データ利活用サービス(検討中)
データ検索・サーバー環境の提供サービス
4. 開発支援ツール
シーン抽出、画像変換、データベース・アノテーションツールなど

走行映像データ活用TOOL

映像収集車両内画面



収集映像・編集DBビューワ・アノテーション・ツール画面

